

*更に既存の公共施設の更新費用も莫大な金額なります。今後 45 年間の推計では、現在の状況を維持していくためには、建物、インフラ（道路や下水道等）を合わせて約 6,500 億円かかる見込みであり、岩見沢市が充当できる金額を考慮すると、単純割で毎年 82 億円が不足するという試算になっています。いよいよ難しい時代が目の状況で、長期的視野による決断が重要になってきます。目先に囚われる事なく、全体最適の視点で取り組んでいきます。

【その他活動の報告(抜粋版)】

◆北海道「炭鉄港」市町村議員連盟発足

少数の有志と共に北海道「炭鉄港」市町村議員連盟の発起人会をつくり、3月に岩見沢にて設立総会を行いました。何と9市2町75名の加入を頂き、尚且つ北海道議会議員の3会派11名の方々にも顧問に名を連ねていただき、無事に船出をいたしました。この総会で平野は運営の要である幹事長に就任し、会の運営を行っています。

そもそも「炭鉄港」って何？という方も多いかもしれませんが、日本の近代化を支えた空知の石“炭”それを積み出した小樽・室蘭の“港”それらを結んだ“鉄”道、更に石炭の資本により生まれた室蘭の製“鉄”という「炭・鉄・港」を軸として地域価値を高めていく取組で、近年世界遺産



に指定された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と見事に繋がる数多くの価値の高い遺産とストーリーがこの地に存在しています。岩見沢市は元来石炭を運ぶためにできた鉄道の要衝で、物だけでなく文化、価値観等が集まっては分散していったハブの街です。今後の文化的価値を高めることで、大いにこの地域の活力が高まることも期待でき、その側面支援として議員連盟を立ち上げました。まずは来年以降の日本遺産登録の実現を目指し、盛り上げりを期待しています。

◆岩見沢赤電保存会発足

岩見沢赤電保存会をご存知ですか？道内で初めて採用された711系という電車で、現在栗沢町上幌にて保存展示しています。これはインターネットを利用した募金で400万円以上を集め、民間のみの力で保存開始したものです。岩見沢赤電保存会は昨年10月に、保全を担う地元の会として発足し、平野が代表を務めています。鉄道の街岩見沢の記憶をプラスに活用していきます。(会員募集中)



〈小話コーナー〉

平野は現在、岩見沢地区消防組合議員も担っています。前々回の議会での一般質問はソーラーパネルに関するものを実施しました。ソーラーパネルが設置された住宅が、万が一日中に火災が発生した場合、その発電を遮断できないために感電の可能性がある／パネルが邪魔して消火活動中の換気や放水に難がある／重量物ゆえに落下の危険性がある等々。これらによって、消防活動は非常に難易度の高いものになります。よって、その対策をどう考えているか？という現場の方々の安全確保へ願いを込めた質問でした。が、そこはプロ。状況の把握と訓練の徹底に務めているとの事で、要らぬ心配だった様です。ちなみに本事例の道内での出動事例はなし。しかしいつ発生するかわからないのも災害の怖さ。是非、そんな出動が永遠に無きよう常に火元の確認をお願いします！

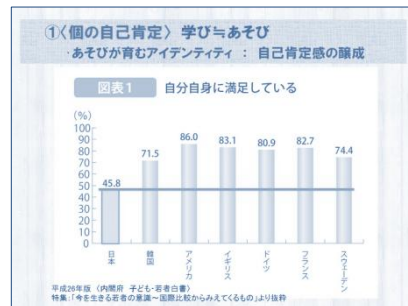
◆こども環境学会全国大会運営

5月に平野が所属するこども環境学会の全国大会が恵庭市で開催されました。その運営委員の一人として、分科会C「共に遊び共に育つ」においてコーディネーター役を担いました。全国から訪れた多くの参加者と共に、現在の懸念の一つである、大人と子どもを取り巻く環境において、大人の姿勢を学ぶ機会となりました。



◆生涯学習専門員研修会講師

8月に空知管内の社会教育主事等を対象とし、浦臼町で開催された研修会〈空知社会教育研究協議会10周年事業・平成29年度空知管内生涯学習専門員研修会〉にて、基調講演の講師として依頼を受けました。日頃から仕事として専門的に取り組んでいるプロに対し、「あそぶ・学ぶ・動くで育む ～個人と地域の自己肯定～」という題で90分間の講演をさせていただきました。現代は個人の自己肯定感が低く、国際比較においても顕著なことを引き合いに、子どもも大人も熱中できることの重要性等を軸に、地域におけるまちづくりの話へと展開させていただいたもので、大変好評を得ることができました。



◆北海道公立学校教頭会研究大会〈全道〉

9月に北海道公立学校教頭会研究大会があり、全道から岩見沢市に多くの教頭先生の代表が集まりました。その中の特別分科会のシンポジウム〈学校と地域が連携した体育向上への取組の可能性〉にて、元市PTA連合会顧問、保護者、地域の大人、過去スポーツ選手として過ごしてきた経験などの経歴から、シンポジストとしてお招きいただきました。本当にありがたいことです。どれほど役に立てたかはわかりませんが、あらためて教頭先生の熱意を強く感じることができ、とても貴重な経験となりました。



◆これっと連載記事執筆中

岩見沢市内のお店などで無料配布されているフリーペーパー「これっと」をご存知ですか？とてもオシャレな情報誌ですが、何とその中に、平野が主宰しているグループ「岩見沢シビックプライド探求部」として岩見沢の歴史や価値についての連載があります。是非ご覧ください。



〈編集後記〉

◇平野議員の活躍の場がますます広がり、後援会通信は回を重ねるごとに紙面が足りなくなってきました。◇さて、秋の夜長いかがお過ごしですか？私はノンフィクション小説『1984年』を読みました。統制により思考も行動も交流も自由がなくなるという世の中を描いたものです。◇本を閉じたとき、一緒に飲んで食べて笑い語り合える後援会役員の仲間を想い、会いたくなりました。◇11月12日は第3回報告会（表面上部記載）で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

〈幹事長 中谷俊雄〉